

2025年度 事業計画書

2025年度は、2025年日本国際博覧会（以下「大阪・関西万博」）が開催される年であり、当協会は、この国内外から多くの来阪者を迎える機会を活かしつつ、悠久の歴史・文化に根ざした関西・大阪の魅力やポテンシャルを発信するとともに、未来を担う人材の発掘・育成と、活気あふれる関西・大阪の文化芸術の振興に貢献すべく事業活動にますます邁進していく。

万博記念基金事業では、大阪・関西万博での催事をはじめとする国際交流活動等への支援を積極的に行うとともに、国内外の70年万博の理念に基づく活動への助成や日本文化を研究する外国人留学生を対象とした日本文化研究支援（奨学金給付）を実施し、「人類の進歩と調和」へ貢献し続ける。

アーツサポート関西では、引き続きアーティスト支援を重要課題と位置付け、寄附型クラウドファンディング助成を継続実施するとともに、様々な寄附集めの手法を取り入れ、事業の安定財源の確保を目指す。

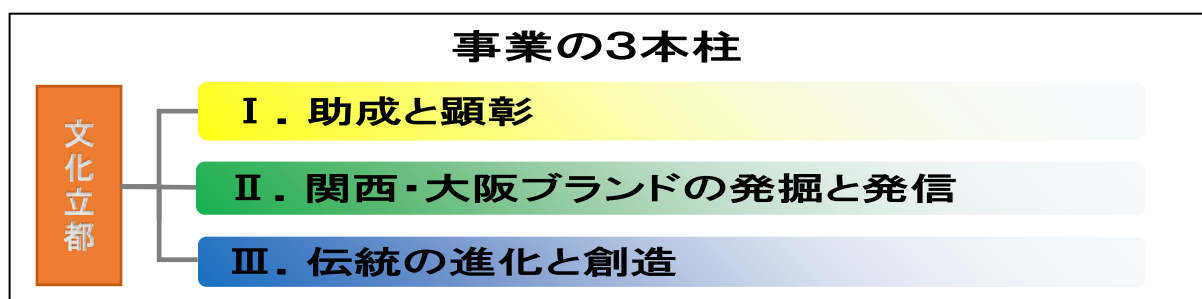
文化事業では、大阪・関西万博会場内において『ORA 外食パビリオン「宴～UTAGE～」パビリオンデー』を実施し、日本の食文化を世界に発信する。「Osaka Directory」では、これまで若手アーティストの作品を非常に多くの方々にご覧いただき、4年目を迎える2025年度も、引き続き若手アーティストの育成・支援に取り組みつつ、関西・大阪のアートシーンの活性化に貢献する。

「アーティスト交流体験～文化芸術による次世代育成プログラム～」では、関西・大阪で活動するアーティストの紹介や、次世代の子供たちが文化・芸術に触れ合える機会を設け、より一層人材育成に貢献する。

「art bridge」では、障がいなど多様な背景を持つアーティストの優れた作品発表の場や機会の提供として、団体、法人等にアート作品を紹介し貸出すことにより、アーティスト支援を行うとともにインクルーシブな社会実現に貢献していく。

「ライジングスター・プロジェクト」では、将来性のある関西ゆかりの若手クラシック演奏家に、関西を代表するオーケストラと協演する機会を提供する場として、ソリスト公募オーディションを実施し、更なる成長を促すとともに、優れた才能を発掘し、世に送り出す役割を果たす。

その他、上方文化芸能においては、「御田植神事」や「宝恵駕行列」等の上方伝統行事への支援を引き続き行う。



I. 助成と顕彰

1. 「日本万国博覧会記念基金（1970年万博）」事業（公益目的事業2）

「日本万国博覧会記念基金（1970年万博）」の運用益の一部をもって、1970年万博の成功を記念するにふさわしく、かつ国内外で実施される公益的な「国際相互理解の促進に資する活動」及び「文化的活動」に対して助成金を交付するとともに、日本文化を学ぶ外国人留学生を対象に日本文化研究支援事業を行い、「次世代人材育成」を通して日本文化の理解を促し、その根底に流れる調和的発展の精神を世界に広げて、人類の「調和ある発展」に貢献する。

あわせて、大阪府の日本万国博覧会記念公園の管理運営及び1970年万博の理念を継承する大阪・関西万博の成功に貢献するために寄附をする。

ア. 助成事業

A. 助成金交付対象分野

1970年万博の成功を記念するにふさわしく、かつ公益的な以下の活動を助成金交付対象とする。

《 国際相互理解の促進に資する活動 》

- ・国際交流に寄与する活動
- ・国際協力に寄与する活動
- ・教育に関する国際的な活動
- ・学術に関する国際的な活動

《 文化的活動 》

- ・日本の伝統文化の伝承及び振興活動
- ・芸術及び地域文化に関する活動

B. 2025年度助成事業

(1) 2025年度助成金交付事業

① 助成対象等

○ 2025年大阪・関西万博特別助成事業

- ・大阪・関西万博会場（夢洲）での催事・イベント、交流事業をはじめ、日本全国において、大阪・関西万博に呼応して行われる文化活動や親善活動などの「国際文化交流、国際親善に寄与する活動」「教育・学術に関する国際的な活動」と、文楽等の伝統芸能や地域活性化に繋がる事業などの「日本の伝統文化の伝承及び振興活動」「芸術及び地域文化に関する活動」を対象とする。
- ・1事業につき助成金500万円を上限とするが、大阪・関西万博へのパビリオン出展など、特に助成の効果が大きいと判断されるものについては1,500万円を上限として、数十件程度を採択する。

○ 一般助成事業

- ・1事業につき助成金500万円を上限として数十件程度を採択する。

② 交付決定

- ・2024年度中に交付決定を行った助成金交付対象事業（64件2億円）に対し、各事業の完了後に報告書の提出を受け、助成金を交付する。

2025 年度助成金交付決定

(単位：件, 万円)

助 成 区 分		万博特別		一 般		合 計	
国際相互理解促進活動	国際文化交流、国際親善に寄与する活動	11	6,000	15	4,490	26	10,490
		※2023 年度継続 ※2024 年度継続		2	1,980	2	1,980
	教育、学術に関する国際的な活動	4	1,170	14	2,520	18	3,690
文化的活動	日本の伝統文化の伝承及び振興活動	6	1,090	-	-	6	1,090
	芸術及び地域文化に関する活動	12	2,750	-	-	12	2,750
合 計		33	11,010	31	8,990	64	20,000

③ 実地調査及び事後評価

- ・国内で行われる助成金交付対象事業の実地調査を行う。
- ・助成対象事業者からの報告書と実地調査の結果を踏まえて事後評価を行う。

(2) 2025 年度日本文化研究支援事業（外国人留学生対象奨学金給付事業）

① 奨学金給付対象等

- ・対 象 者 日本文化を研究する対象大学の大学院修士課程に在籍する海外からの私費留学生を対象
- ・対象人数 8 名程度（予定 8 大学）
- ・給 付 額 月額 10 万円、年額 120 万円（1 名あたり）
- ・報 告 会 年 2 回程度実施

② 募集・審査等

- ・募集期間 2025 年 4～5 月
- ・審 査 2025 年 6 月中旬
- ・交付決定 2025 年 7 月上旬（理事会で決定）

③ 継続給付

- ・対 象 者 2024 年度に奨学金給付を決定した奨学生
- ・対象人数 4 名/4 大学
- ・給 付 額 月額 10 万円、年額 120 万円（1 名あたり）
- ・報 告 会 年 2 回程度実施

C. 2024 年度助成金交付事業の繰越等

2024 年度に交付決定を行った助成金交付事業の内、年度内に事業を実施し助成金の交付が翌年度になるもの及びやむを得ず事業実施が翌年度になるものについて、2025 年度への助成金交付時期の繰越（予定 18 件 3,580 万円）等を行う。

D. 2026 年度助成事業の募集

(1) 2026 年度助成金交付事業

① 助成金交付対象分野

1970年万博の成功を記念するにふさわしく、かつ公益的な以下の活動を助成金交付対象とする。

○ 国際相互理解の促進に資する活動

- ・ 国際交流に寄与する活動
- ・ 国際協力に寄与する活動
- ・ 教育に関する国際的な活動
- ・ 学術に関する国際的な活動

② 募集事業 一般助成事業

○ 一般助成事業

- ・ 1事業につき助成金500万円以内の範囲で上限額を設定し数十件程度を採択する。

③ 募集方法等

- ・ 募集方法 ホームページへの掲載や関係先への募集要項送付
- ・ 募集説明会 大阪・東京・ほか地方都市数カ所
- ・ 募集時期 2025年7～9月
- ・ 助成総額 1億1,000万円程度（国内外事業助成予定総額）
- ・ 助成対象事業の選考 審査会の開催 2026年1～2月
- ・ 助成金の交付決定 決定時期 2026年3月

〔日本万国博覧会記念基金助成事業審査会への諮問、同審査会の答申を受けて理事会で決定する。〕

(2) 2026年度日本文化研究支援事業（外国人留学生対象奨学金給付事業）

① 奨学金給付対象分野

1970年万博の理念を継承し、国際社会に貢献する「次世代人材育成」を通して、世界に日本文化の理解を促す「国際相互理解の促進に資する活動」を対象とする。

② 募集対象等

- ・ 募集対象 日本文化を研究する対象大学の大学院修士課程に在籍する海外からの私費留学生
- ・ 対象大学 日本国内の奨学金の給付対象となる大学（予定8大学）
- ・ 対象人数 8名程度
- ・ 給付額 月額10万円、年額120万円（1名あたり）
- ・ 給付期間 修士課程修学期間（2026年4月～2028年3月）
- ・ 募集方法 対象大学による公募やホームページへの掲載
- ・ 募集時期 2026年3月下旬～5月
- ・ 奨学金総額 1,000～2,000万円程度（継続給付含む）
- ・ 奨学金対象の選考 対象大学内選考及び審査会の開催 2026年5～6月
- ・ 奨学金の交付決定 決定時期 2026年7月頃（理事会で決定）
- ・ 報告会 年2回程度実施

E. 助成事業の「見える化」への取り組み

助成金等贈呈式

- 国内（一部国外も含む）の助成金や奨学金による支援対象者を一堂に集め、贈呈式を開催する。併せて助成事業の事例発表等を開催する。

○ 経済界やマスコミ、行政、関西の総領事、学識経験者（審査員）、理事、評議員など関係者に広く参加を呼び掛け、事業の「見える化」を促す。

- ・開催日程 2025年7月頃
- ・開催場所 大阪
- ・参加者数 100名程度（関係者含む）

イ. 日本万国博覧会記念公園の管理運営及び大阪・関西万博に寄附する事業

日本万国博覧会記念公園の運営管理及び大阪・関西万博の開催準備等の1970年万博の理念を継承する事業への支援のため、大阪府及び（公社）2025日本国際博覧会協会に対し万博記念基金の2分の1の額を寄附する。

【寄附金総額】最大95億2,700万円

※大阪府及び（公社）2025日本国際博覧会協会への寄附額は2025年度中に確定

2. 「アーツサポート関西」（ASK）事業（公益目的事業3）

芸術・文化は、人々の感性や創造性を涵養し、社会をより豊かにするものである。関西の優れた伝統芸能の継承や、新たな芸術的価値の創出を図るため、民間から広く支援を募り、助成金交付等の事業によって関西の芸術・文化活動を行う個人・団体を支援する。

また、社会に対し芸術・文化を支援する意義を広く周知し、支援の輪を広げていく機運の醸成を図る。

ア. 寄附を集める活動

ASKの活動は、民間からの寄附金を財源としており、この活動財源である寄附受入の持続可能な仕組みとして、サポーターズクラブをはじめ、購入代金の一部が寄附される「寄附型自販機」や買取代金が寄附される「モノde寄附」など多様な取り組みを行ってきている。

今後も引き続き、ASKの運営基盤を強化するため、従来から取り組んできた持続性のある寄附受入の手法を中心に、次の取り組みを行う。

- A. 「ASKサポーターズクラブ」による収入の維持・拡大
- B. 「ASK寄附型自販機」による収入の維持・拡大
- C. 「モノde寄附」による収入の維持・拡大
- D. 「カードポイント寄附」による収入の維持・拡大
- E. 「クラウドファンディング助成」における寄附集めの推進
- F. 芸術活動支援のための寄附集めキャンペーン「HEART AND ART」の推進
- G. WEBやQRコードを活用したオンラインによる寄附集めの推進
- H. その他、持続性のある新たな寄附の方法の検討・実施

イ. 助成事業

A. 2025年度 助成金交付事業の実施

（1）一般公募助成

支援分野の指定がない寄附型自販機寄附などの寄附金を原資として公募で助成するもの。2025年度に行われる活動を対象に、2024年度に募集・審査して交付を決定。助成金交付後に活動を視察し、活動内容の確認・評価を行う。

2025 年度一般公募助成金交付決定

(単位：件，万円)

	件 数	助 成 金 額
美術・デザイン	6	145
音 楽	2	30
舞 台 芸 術	4	85
伝 統 芸 能	2	40
合 計	14	300

(2) 個別寄金助成

寄附者が支援対象を指定したファンドを設け、ファンドごとに公募で助成するもの。2025 年度に行われる活動を対象に、2024 年度に募集・審査して交付を決定。助成金交付後に活動を視察し、活動内容の確認・評価を行う。

助 成 名	件 数	助成総額	助成分野	対象者
「トヨタモビリティ新大阪 ASK 支援寄金」助成 (3 年目)	18	300 万円	関西で行われる若手演奏家によるクラシック音楽活動	関西を拠点に活動する若手クラシック音楽家個人
「八千代電設工業伝統芸能支援寄金」助成 (9 年目)	2	50 万円	能楽における青少年を対象にした教育普及活動	関西広域において左記の活動を行う団体
「未来アート寄金」助成 (4 年目)	4	90 万円	現代美術およびコンテンポラリーダンス	関西広域において左記の活動を行う個人

(3) クラウドファンディング助成

公募で選ばれた助成対象事業をクラウド上に公表し、当該事業を支援するための寄附集めを行い、集まった寄附を助成金として交付する。

① 公募済みの事業 ※2024 年度の公募で採択

(単位：件，万円)

	件 数	助成希望金額
音 楽	2	280
伝 統 芸 能	1	180
合 計	3	460

② 2025 年度中に公募し助成金を交付する事業

助成総額	助成分野	対象者	募集期間	募集方法
集まった寄附を助成金として交付	美術・デザイン、音楽、舞台芸術、伝統芸能	関西を拠点に活動する団体	2025 年 7 月 助成金交付は2025 年 10 月～2026 年 3 月	協会ホームページへの掲載、関係先へのメール等による案内など

B. 2026 年度助成事業の募集

(1) 一般公募助成

助成総額	助成分野	対象者	募集期間	募集方法
300 万円 ～500 万円	美術・デザイン、 音楽、舞台芸術、 伝統芸能	関西を拠点に活 動する個人・団体 (個人優先採択)	2025 年 12 月 ～2026 年 1 月	協会ホームページ への掲載、関係先 へのメール等によ る案内など

※寄附の受入状況によって助成総額を設定する。

(2) 個別寄金助成

助成名	助成総額	助成分野	募集期間 募集方法
「トヨタモビリティ新大阪 ASK 支援寄金」助成 (4 年目)	300 万円	関西で行われる若手演奏家 によるクラシック音楽活動	2025 年 12 月 ～2026 年 1 月 WEB への掲載等によ る
「八千代電設工業伝統芸能 支援寄金」助成 (10 年目)	50 万円	関西で行われる能楽にお ける青少年を対象にした 教育普及活動	
「インターグループ上町台地 現代アート寄金」助成 (3 年目)	50 万円	上町台地における寺社と現代 アートとの融合を図る活動	
「未来アート寄金」助成 (5 年目)	90 万円	現代美術およびコンテン ポラリーダンス	

※追加寄附を受け入れた場合は助成総額に上乗せする。

(3) クラウドファンディングによる助成事業の募集

助成総額	助成分野	対象者	募集期間	募集方法
集まった寄附 を助成金とし て交付	美術・デザイン、 音楽、舞台芸術、 伝統芸能	関西を拠点に 活動する団体	2025 年 12 月～ 2026 年 1 月	協会ホームページ への掲載、関係先 へのメール等によ る案内など

C. 評価・審査委員会、運営委員会の開催

文化、芸術の専門家や、外部有識者によって構成される評価・審査委員会において選考を行い、運営委員会で確認、理事会で決定する。

- ・評価・審査委員会 2026 年 1～2 月 (1 次～2 次)
- ・運営委員会 2026 年 2～3 月上旬
- ・助成金交付決定 2026 年 3 月 (理事会：3 月)

なお、2025 年度中に公募を行う助成事業については、募集・選考日程に合わせ評価・審査委員会及び運営委員会を開催し、理事会で決定する。

D. 2025 年度中の分野指定型寄附金の受入れ及び助成対象者の公募等の実施

2025 年度中に分野指定型寄附 (クラウドファンディングへの寄附を含む) の申込があるときは、当該寄附金の受入れに係る理事会の承認、又は報告の手続きにより受入れを行う。

なお、寄附金の受入れ後、寄附者の意向により 2025 年度中に助成対象者の公募及び審査・選考を実施する必要がある場合、当該求めに応じ公募等を実施する。

- ・寄附受入期間 通年
- ・公募期間 1か月程度
- ・審査選考 公募期間終了後、1か月～2か月の間
- ・対象者決定 審査選考後理事会にて決定

※公募期間、審査選考及び対象者決定時期は、原則として一般公募助成の取扱いに準じる。

ウ. 芸術・文化への支援に関する社会的機運の醸成を図る取り組み

芸術、文化の活動を支援（寄附）することの意義について、これまでのASK支援者（寄附者）をはじめ、広く一般市民や企業にASKへの関心を持っていただき、積極的に支援（寄附）するという文化の社会的機運を醸成する取り組みとして、意義を広めるための告知活動、企業等が行う芸術文化振興活動への協力、メディアと連携した情報発信などを行う。

3. 人材育成（アーティスト支援）

ア. 大阪文化祭賞（公益目的事業1）

大阪の文化芸術活動の奨励及び普及を図り、文化振興の機運を醸成することを目的とし、大阪府・大阪市とともに大阪府内で行われる公演を対象に、優れた成果をあげた個人または団体に賞（表彰状・表彰楯・副賞）を贈呈する。

- ・主催 大阪府、大阪市、（公財）関西・大阪21世紀協会
- ・贈呈式 2026年3月（予定）

イ. アーティスト交流体験～文化芸術による次世代育成プログラム～（公益目的事業1）

新進のアーティストを育成し、文化芸術の裾野を広げることにより、関西・大阪の文化芸術の活性化に貢献することを目的に、関西・大阪のアーティストの活動紹介と子どもたちを対象とした文化芸術体験の場を提供するプログラムを実施する。

- ・主催 （公財）関西・大阪21世紀協会
- ・実施校数 4校程度
- ・実施校募集 公募
- ・実施時期 2025年6～12月頃（1校につき3回程度実施）

※本事業実施に際して年度毎に評価を行うため外部から評価委員を招聘。

※他団体の助成制度や公募による受託業務の活用により、実施エリア・実施校数の拡大を目指す。

ウ. 文化活動機会の架け橋事業の実施（公益目的事業1）

当協会が結節点機能の役割を果たし、関西・大阪で活動する優れたアーティストを文化芸術活動の誘致（実施）を希望する団体等に紹介し、文化活動の活性化を図る取り組みを実施する。

- ・実施時期 通年
- ・場所 大阪市内ほか

エ. 「art bridge—もっと身近にインクルーシブアートを」プロジェクト（公益目的事業1）

障がいのある方を中心とする、多様な背景を持つアーティストの優れたアート作品を紹介し貸し出すことにより、その多様な感性に身近に触れ鑑賞する機会を広く

提供するとともに、人間の多様性の尊重と、生み出されるアート作品に対する理解の促進を図り、才能あるアーティストの支援と関西・大阪における文化振興に繋げていく。また、プロジェクトでの紹介を通じて、障がいのある方等の自立支援などにも繋げていく。

- ・事業主体 (公財) 関西・大阪 21 世紀協会
- ・運営主体 オフィス・エヌ
- ・実施時期 通年

オ. ソリスト育成支援「ライジングスター・プロジェクト」 (公益目的事業 1)

将来性のある関西ゆかりの若手演奏家に、関西を代表するオーケストラである関西フィルハーモニー管弦楽団と協演する機会を提供。ソリストたちの更なる成長を促すとともに、優れた才能を発掘し、世に送り出す役割を果たす。2026 年 8 月開催予定の「Meet the Classic Vol.50」で協演するソリストの公募オーディションを実施するとともに、昨年度のオーディションで選ばれた 3 名が出演する「Meet the Classic Vol.49」を 8 月に住友生命いずみホールにて開催する。

- ・主 催 (公財) 関西・大阪 21 世紀協会
- ・共 催 (公財) 関西フィルハーモニー管弦楽団
- ・2025 年度「ライジングスター・プロジェクト」ソリスト公募オーディション
実施時期 2025 年 4 月～公募、6～8 月選考・オーディション
- ・「Meet the Classic Vol.49」(2024 年度選出ソリスト出演公演)
実施時期 2025 年 8 月 11 日 (月・祝) 住友生命いずみホール

カ. 上方落語若手噺家グランプリ (公益目的事業 1)

これからの上方落語を背負って立つ若手噺家を対象に、次世代のスターの発掘・育成・発信を目的に上方落語協会が実施する「上方落語若手噺家グランプリ」。日本独自の文化を若い世代に『つなぐ』ことをコンセプトに、将来の鑑賞者拡大・育成も図り、上方落語の継承・発展を目指す。

- ・実施時期 2025 年 4 月予選会 6 月決勝大会 (予定)
- ・主 催 (公社) 上方落語協会
- ・協 力 (公財) 関西・大阪 21 世紀協会

II. 関西・大阪ブランドの発掘と発信

1. 講座・セミナーの開催

ア. 関西北前船研究交流セミナー (公益目的事業 1)

関西の食文化の発展に大きな影響を及ぼした、北前船寄港地で日本遺産に認定されている関西地区 11 市町と連携してセミナーを開催。北前船の船主や商いを営む人々の関わりなど、当時の歴史と現在に触れ、関西の食文化をはじめとする関西ブランドの情報発信を行う。

- ・主 催 関西前船研究交流セミナー実行委員会
- (大阪市、神戸市、宮津市、小浜市、洲本市、赤穂市、
高砂市、新温泉町、姫路市、たつの市、泉佐野市、
(公財) 関西・大阪 21 世紀協会 (事務局)、他企業)
- ・実施時期 2025 年秋頃
- ・場 所 兵庫県たつの市

イ. 室内楽マスタークラスの実施 (公益目的事業 1)

関西では数少ないプロフェッショナルな室内楽を専門的に学べる「今福音楽堂」と連携し、プロとして歩み始めた若手演奏家の成長とレベルアップを後押しする。国内外で活躍するトップクラスの音楽家と若手演奏家が共演する室内楽コンサートの開催により、関西の音楽文化の向上に寄与する。

- ・主 催 (一社) Reise
- ・共 催 (公財) 関西・大阪 21 世紀協会
- ・実施時期 2026 年 3 月 (予定)

2. 関西ブランドの発信

ア. 大阪・関西万博開催の機運醸成と関西ブランドの情報発信 (公益目的事業 1)

国立民族学博物館において、1970 年と 2025 年の万博、そして両万博とその後の未来をテーマに、シンポジウムが開催される。

万博の大阪開催は、関西・大阪の歴史や文化など、地域社会に大きな影響を与えてきた。1970 年万博のレガシーを引き継ぐ当協会は、シンポジウムへの協力体制を構築し、大阪・関西万博開催までの間、万博開催の機運醸成と万博を通じた関西・大阪の歴史や文化など関西ブランドの情報発信を行っていく。

【2025 年度実施予定】

- ・主 催 (公財) 千里文化財団
- ・協 力 (公財) 関西・大阪 21 世紀協会
- ・実施時期 2025 年 10 月上旬頃
- ・場 所 国立民族学博物館

イ. 「KANSAI*OSAKA 文化力」の発行 (公益目的事業 1)

関西・大阪のブランド力の向上を目的として、当協会の取り組みや芸術・学術・技術をはじめ、生活文化、祭事、スポーツなど、さまざまな分野における関西の文化資源や人材を発信する広報誌を発行。賛助会員をはじめ、公立図書館や大学、高校、公的機関、マスコミ等へ広く配布 (約 1 万部) する。

- ・発行回数 年 2 回 (2025 年 5 月・11 月予定)

ウ. ホームページ、SNS による発信等 (公益目的事業 1)

大阪のさまざまな伝統行事や当協会が主催・後援等をする文化芸術活動の最新ニュースをタイムリーに発信する。また、マスコミ関係者とのリレーションを強化するなど様々な媒体による広報展開を図る。

- ・実施期間 通年

エ. 書籍「なにわ大坂をつくった100人」の頒布（その他事業1）

古代から近世にかけて「なにわ大坂」で活躍した100人を選び、当協会HP上で紹介していたものを、2017年度から2019年度にかけて出版社との協力により書籍化して発行しており、関西・大阪の文化力向上、イメージ向上に資するため引き続き事業を継続する。

- ・実施期間 通年

オ. 御堂筋でのバナー展開（収益事業）

当協会が保有する御堂筋などの街路灯のバナー取付具を活用し、都市のブランディングに相応しいイベントバナーを掲載し、景観の向上を図る。

- ・実施期間 通年

3. ネットワークと理解促進

ア. 後援・協力（その他事業1）

関西・大阪の文化振興、地域活性化に資する団体、個人、行事について後援（後援名義の使用許可、賞状の授与等）を行い、ホームページで広く活動を紹介する。

- ・実施期間 通年

イ. 協会活動への理解促進（その他事業2）

賛助会員との交流会を行い、事業のPRや協会活動への理解を深める。

- ・実施時期 2025年秋頃【予定】

Ⅲ. 伝統の進化と創造

1. コラボレーションによるまちづくり

ア. 大阪・関西万博に向けた歴史・文化の紹介【日本博事業フォローアップ】（公益目的事業1）

2025年の大阪・関西万博に向けて、2020年度に作成された「古代首都なにわ八十島祭」のコンテンツを有効活用し、当協会関連の催事やWebサイトを通じて、関西・大阪の歴史と文化を広く紹介する。

- ・実施期間 2025年6月7日（万博会場内イベント）、通年（WEBサイト）
- ・関連催事 万博会場内イベントの中で八十島絵巻の動画を採用予定。

イ. 広域連携支援（公益目的事業1）

○『ORA 外食パビリオン「宴～UTAGE～」パビリオンデー』の実施

大阪・関西万博において、（一社）大阪外食産業協会がORA外食パビリオンを出展するにあたり、当協会は運営主体となる食博覧会実行委員会に参画し、日本の食や食文化を世界に発信する『ORA外食パビリオン「宴～UTAGE～」パビリオンデー』催事を実施する。

- ・イベント名称 日本食 Wonder Trip～世界に誇る日本食魅力発見の旅～
- ・実施日 2025年6月7日（土）
- ・場 所 大阪・関西万博会場内、EXPOホール「シャインハット」
- ・入場者数 約4千人
- ・主 催 （一社）大阪外食産業協会、食博覧会実行委員会、
（公財）関西・大阪21世紀協会

〈参考〉ORA外食パビリオン

- 主 催 - （一社）大阪外食産業協会、食博覧会実行委員会
- 館 名 称 - ORA外食パビリオン「宴～UTAGE～」
- テ ー マ - 新・天下の台所 ～食博覧会・大阪2025～
- 施 設 構 成 - 1階：営業販売ブース企画、2階：体験プログラム
- 入館予定数 - 約200万人

ウ. 大阪中之島美術館共同プロジェクト「Osaka Directory」(公益目的事業1)

大阪を中心とする関西で活躍する若手アーティストに作品発表の機会を提供。
全国そして全世界に羽ばたくきっかけを作ることを目的に、将来の活躍が期待される若手作家を紹介する小企画展を実施する。

- ・ 共 催 (公財) 関西・大阪 21 世紀協会、大阪中之島美術館
- ・ 実施時期 2025 年 11 月中旬～2026 年 2 月中旬 (予定)
- ・ 内 容 1 企画/アーティスト 1 名/約 1 か月 (3 企画を予定)

エ. 「KANSAI 伝統文化 EXPO (仮称)」(公益目的事業1)

2024 年度に関西各地で展開した「KANSAI 感祭」の成果をつなぎ、波及させることを目的に、2025 年度、大阪・関西万博夢洲会場の来場者に向け、伝統芸能等の実演や体験による文化発信イベントを開催し、関西の魅力を PR し万博をゲートウェイとして関西各地への誘客促進を図るとともに、関西の伝統文化を国内外に向け発信する。

- ・ 主 催 「KANSAI 感祭」実行委員会
〔 関西広域連合、(公社) 関西経済連合会 〕
〔 (公財) 関西・大阪 21 世紀協会 〕
- ・ 実施時期 2025 年 8 月 9 日 (土) ～11 日 (月・祝)
実施場所：関西パビリオン多目的エリア
2025 年 10 月 5 日 (日)
実施場所：ポップアップステージ南
- ・ 内 容 構成府県市の民俗芸能による実演及び体験、PR 動画などの上映

2. 上方文化芸能の振興と無形文化財の保護・育成

ア. 上方文化芸能振興事業

上方文化芸能の振興として、公演活動のほか当協会ホームページや広報誌「KANSAI*OSAKA 文化力」に掲載し、情報発信を行う。

【公演活動「ワンコイン文楽」】

大阪発祥である人形浄瑠璃文楽の伝統を、若い世代に受け継いでいくことを目的に、関西在住・在勤の 15 歳から 35 歳までの若者 500 人を対象に 500 円で文楽が鑑賞できる取り組みにより、上方文化芸能の振興に貢献する。

- ・ 主 催 (公財) 文楽協会
- ・ 協 力 (公財) 関西・大阪 21 世紀協会
- ・ 実施時期 2025 年 11 月、2026 年 1 月 (予定)

イ. 無形文化財の保護・育成

- A. 今宮戎神社 宝恵駕行事[無形民俗文化財] (2026 年 1 月 10 日) 協賛
- B. 住吉大社 御田植神事[重要無形民俗文化財] (2025 年 6 月 14 日) 協賛